

JESCO 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.255)

1. 処理施設解体撤去工事の進捗状況について

処理施設の解体撤去工事では高濃度PCB取扱エリアを先行して解体することとしており、令和5年度から令和6年度にかけてコンデンサ自動解体設備の解体撤去を行いました。

コンデンサ自動解体設備の解体撤去終了後、エリア内の空気を吸引することで負圧を維持している排気ダクト内部の拭き取り試験を行い、PCBの付着状況を確認しました。

付着状況確認用試料の採取からPCBの付着量測定までの手順は以下のとおりです。

- ① 屋根裏での作業となるので、照明の準備、また天井の補強を事前に行います。
- ② エリア内の負圧を維持した状態で、ホールソーという道具を使用し、排気ダクトの一部を切り取りますが(大きさはφ120mm)、運転を継続しつつの作業となるのでエリア内の圧力変化に注意が必要です。
- ③ 開口部は、別に準備した当て板で塞ぎます。塞いだ後には、漏れ込みの空気がないか確認をして工事は終了となります。



排気ダクトの一部切り取り



排気ダクトの一部切り取り後



切り取ったダクトの拭き取り

- ④ 切り取ったダクトの内側にあたる部分を、ノルマルヘキサンという溶剤を染み込ませたコットンで拭き取ります。拭き取ったコットンからPCBを抽出して、100cm²あたりのPCB付着量を測定します。

引き続き、高濃度PCB取扱エリアの解体撤去を令和7年度から実施すべく準備を進めています。

2. 安全監視委員会作業部会が開催されました



現場視察の様子

5月16日(金)に豊田市PCB処理安全監視委員会作業部会が開催されました。

今回の作業部会では、令和6年度に発生したトラブルの報告を中心にJESCOからトラブルの概要と再発防止策等の説明を行い、その後、部会員の皆様にトラブルが発生した場所を視察していただきました。

部会員の皆様からは、発生に至るまでの詳細な質問や再発防止策に対するご提案などをいただきました。

また、豊田市からは、事業所で働く全ての作業員が安全な解体撤去作業について、相互理解を深め安全かつ慎重に作業を進めるよう要請がありました。

3. 『安全の日』について

平成19年2月から毎月21日を『安全の日』と定め、“常に安全を最優先”にということをお願い起す日として、JESCOと運転会社全員で安全集会を始めとした安全推進活動を行っています。(21日が休日等の場合は、日にちを繰り上げて行います。)



安全集会の様子



安全パトロールの様子

また、安全推進活動の一環として施設内の安全パトロールを実施しています。

安全に作業が行われているか、トラブルにつながるような危険な箇所はないか、所内ルールが遵守されているか、整理整頓や清掃ができているかなどをチェックしています。

今回のパトロールでは、安全上問題となる箇所はなく、整理整頓や清掃についても問題はありませんでした。

安全パトロール終了後は、引き続き4S活動に努めていくことを確認しました。



デジ丸

中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話：0565-25-3110 FAX：0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <https://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>

問合せ先

アザラシのびーちゃん

